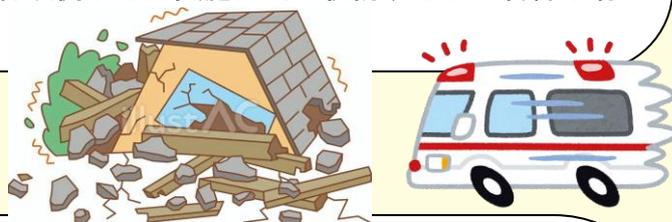


3. 館山市耐震補強促進計画の現状について

地震による建物の倒壊等の被害を減少させる事を目的に耐震化率 95%を目標として、平成 22 年 3 月に策定された計画であります。南海トラフ地震や首都直下型地震、千葉県沖地震などがいつ起こっても不思議ではないと言われる中、耐震化率は一般の戸建て住宅は 78%、多くの人を利用する民間商業施設は 84%となっており、促進計画の期限である令和 7 年度を目前にその対策が急がれます。

建物の倒壊は圧死や道路の閉塞による緊急車両等の交通遮断を招き、支援や復興にも影響が及びます。

しかしながら耐震補強には費用の捻出を伴いますので近隣市に倣い、国の制度を利用した補助金制度を設け促進する事が望まれます。行政側からは実施に向け検討するとの答弁が有りました。



4. 観光振興の在り方について

政府の 2024 年観光白書によりますと、2023 年に日本を訪れた外国人観光客は新型コロナウイルス禍前の 8 割に回復し、千葉県においては 2000 万人弱という大変多くの外国人観光客が成田空港に降り立っています。

しかしその殆んどが県内を観光することなく素通りしています。

本市は県内屈指の観光地であり、まだまだ工夫次第で潜在的な需要を呼び起こせる筈です。

市のホームページに掲載されている写真やレイアウトの見直しを始め、発信力を強化する事や里見八犬伝を活用した街の景観づくり、手軽に愉しめるマリンスポーツや釣り体験、鏡ヶ浦に浮かぶ壮麗な富士山や海を染める夕日の PR、里見城下としての歴史文化探訪や古くから続く海外との交流の軌跡の紹介などの取り組みを求めました。

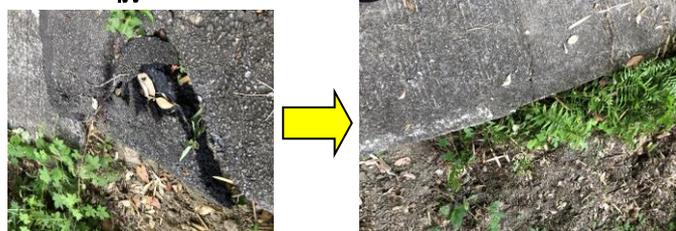
又、館山市は国内旅行者からはドライブに適したリゾート地として認識されている事が分かっており、マリーナを整備する事で景観に付加価値を与え、船舶の係留料による収益や訪れる船舶所有者等による経済効果が期待出来るのではないかと提案しました。

市からは船舶の係留施設の需要や経済効果が見込める事から、館山夕日棧橋の整備事業として国や県に働きかけるとの答弁が有りました。



皆様からのご要望が実現しました！！

前 < 山萩区道路補修 > 後



前 < 館川区道路補修 > 後

